



生物資源科学部は
これからの時代を見据えて
新たに
生まれ変わります。

2023年4月
新学科体制へ
[学部改組構想中]

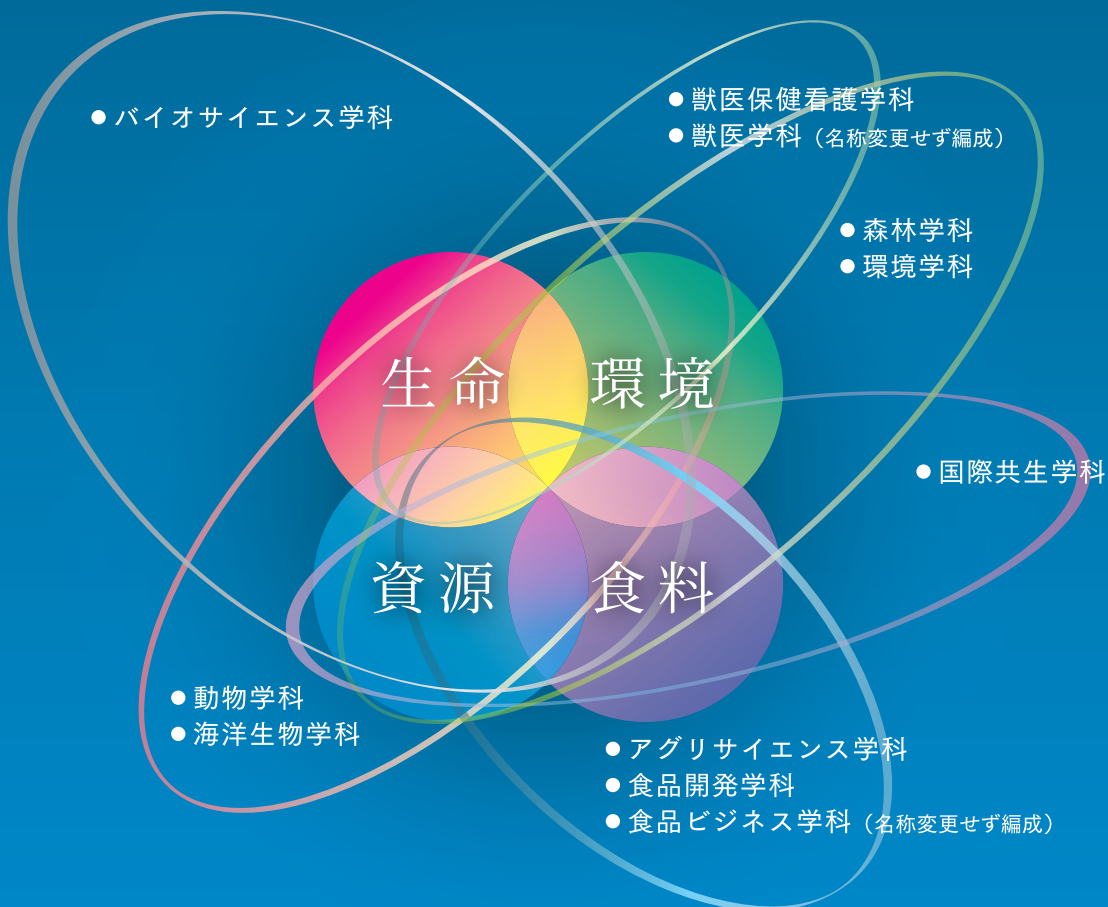
Renewal

学部改組の趣旨と狙い

現在、世界は人口の急速な増加、それに伴う食料問題や環境問題をはじめ、新型コロナウイルス感染症に代表されるような新興感染症の出現など多くの解決すべき問題を抱えています。生物資源科学部は、早くから「生命」「環境」「食料」「資源」に関する教育・研究とこれらの諸問題を解決し、将来を担うことのできる人材の育成に積極的に取り組んできました。しかしながら、急速にグローバル化・ボーダーレス化した社会において、これまで経験したことのない問題や一層複雑化した問題がでてまいりました。

国連はSDGs（持続可能な開発目標）を掲げ、先進国・発展途上国を問わず、諸課題を解決するための取り組みを進めています。また、One Healthのように、人・動物とそれを取り巻く環境（生態系）の健全性を「一つの健康」として包括的に捉え、関連する学術分野が連携して問題解決に当たる必要がでてまいりました。

生物資源科学部では、今日の「生命」「環境」「食料」「資源」の諸問題を解決するためには、新たな視点から教育・研究に取り組み、さらに最先端の知識・技術とSDGsやOne Healthの意識をもって対応できる優秀な人材の育成が急務であると考えています。この度、これからの時代を見据えて、既存の学科の内容・構成を大きく見直し、9つの学科を新設して全11学科の構成で新たな生物資源科学部としてスタートを切ることとなりました。



生命・環境・食料・資源をつなぐ人材育成

新しくなる生物資源科学部の学科内容をご紹介します

私たちの暮らしに重要な生命・環境・食料・資源の課題を複眼的に捉え、自ら解決できる「実践力」のある人材を育成します

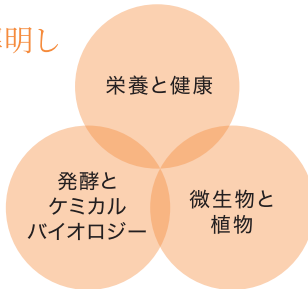
【仮称・設置構想中】

バイオサイエンス学科

バイオテクノロジー×IT×生命現象

バイオテクノロジーを用いて生命活動を解明し
深刻化する社会問題を解決していきます

人間をはじめ動物・植物・微生物のさまざまな“はたらき”や“メカニズム”を、先端的バイオテクノロジーで解明し、社会に還元することで新たな産業を生みだすことを目的とします。健康で持続可能な快適な暮らしを実現する技術の発展と創生を教育のコンセプトにしています。



主な仕事

ヘルスケア・化粧品・医薬品の開発、製造／医療関係／サプリメント・食品や香料の開発、製造／種苗の開発・改善など／IT関連／バイオ産業に関係する企業や団体／中学校・高等学校教諭／国家公務員・地方公務員(技術職)／博物館などの学芸員／大学院進学 など



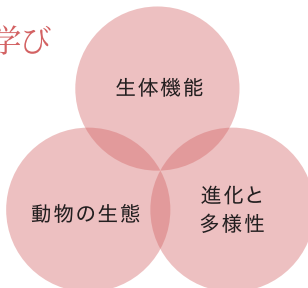
【仮称・設置構想中】

動物学 科

生体機能×進化×多様性

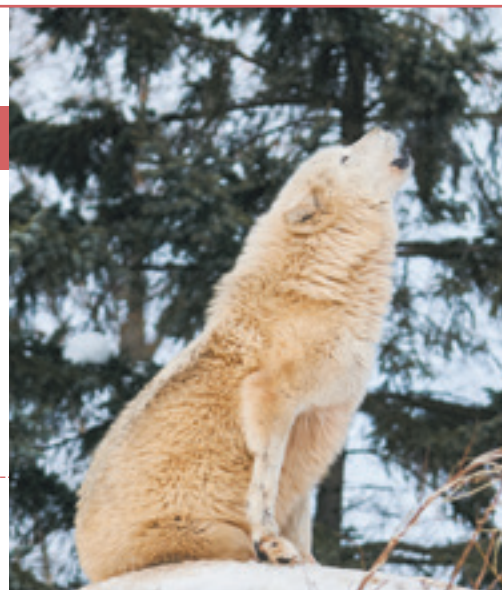
動物のさまざまな潜在能力、生体機能を学び
人類の文化的な生活への応用を考えます

多様な動物種を対象として、それぞれの動物が有する特徴的な機能・かたちから、動物が示す行動や自然界での生態を学び、さらには進化の様相を探究します。その学びにより、自然環境や人間社会への対応を考え、実践できる人材の育成を目指します。



主な仕事

環境アセスメント／サービス業／出版／通信・情報／教育関連／理化学・生化学に関連する企業、団体／中学校・高等学校教諭／博物館などの学芸員／国家公務員・地方公務員／動物学が不可欠な職場でのジェネラリスト・スペシャリストとして／大学院進学 など



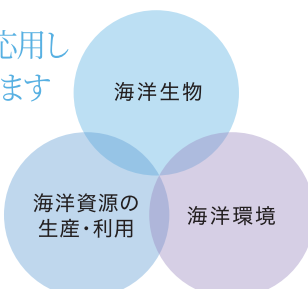
【仮称・設置構想中】

海洋生物学 科

海洋環境×水族館×魚類・海生ほ乳類

海洋生物や棲息環境に関する知識と技術を応用し
海洋資源の活用と人の暮らしの調和を創造します

地球の七割は海です。そこに棲息する海洋生物は多種多様で、食料資源としても大きな役割を果たしています。海洋生物の多様性維持と生物資源としての効率的な生産や利用は、海洋環境保全と持続的発展には不可欠な分野です。本学科は人の豊かな暮らしと海洋環境の調和を創造できる人材の養成を目指しています。



主な仕事

食品の製造・流通・分析・検査／環境アセスメント／海洋関連研究機関／製薬関係／通信・情報関連／建設に関連する企業・団体／水族館／博物館などの学芸員／中学校・高等学校教諭／国家公務員・地方公務員(技術職を含む) など



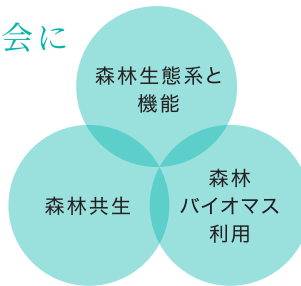
【仮称・設置構想中】

森林学 科

生態系×バイオマス×アメニティ

森林を多角的に研究し、持続可能な社会に 役立つ森林の働きを学びます

森林は人間の生存にとって不可欠な緑豊かな環境を提供してくれる存在であり、また地球上で最も現存量の多い生物資源なのです。森林生態系のしくみや人間社会との関わりを理解し、持続可能な社会の実現のため、森林の有効活用や自然環境の保全に関する課題と向き合う知識と技術を身につけていきます。



主な仕事

林業・造園/土木・緑化/環境アセスメント/国家公務員(林野庁など)・地方公務員(林業職)/住宅産業に関連する企業・団体/建材加工・建設/紙パルプ、製紙関係/測量関係/森林関係のコンサルタント/中学校・高等学校教諭 など



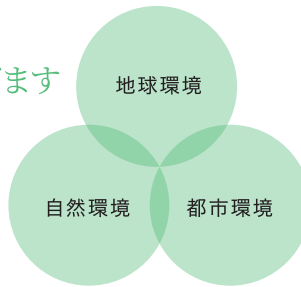
【仮称・設置構想中】

環境学 科

地球環境×自然環境保全×持続可能社会

地球規模で発生している環境問題の 解決方法や自然環境の保全について学びます

現在、国際社会の大きな課題となっている環境問題について学びます。その内容は、地球環境や自然環境から食料生産、資源循環、都市・住居環境まで広範囲に及びます。広い視野とグローバルな視点も備えた、人と自然の共生環境を保全・修復・創造できる「確かな人材」を育成していきます。



主な仕事

建築・土木施工技術者/環境計画コンサルタント/造園技術者/建築・空間デザイン/環境分析技術者/環境保全エンジニア/環境教育指導者/生物生産アドバイザー/観光関連/通信・情報関連の企業・団体/国家公務員・地方公務員/博物館などの学芸員/中学校・高等学校教諭 など



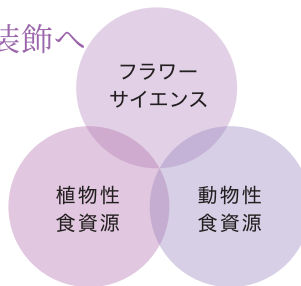
【仮称・設置構想中】

アグリサイエンス学科

フラワー装飾×食資源×ブランド化

先端技術を駆使した食料生産とフラワー装飾へ 生命科学の知識と技術を習得します

生命科学のさまざまな理論を学び、キャンパス内のフィールドでは作物生産や動物飼育などの技術を習得します。理論→実践→検証の相互循環型学習から、価値の高い植物・動物性食資源を生産し、安定的に供給するしくみの構築や、多様化する消費者ニーズに対応する能力を育成します。



主な仕事

地域ブランド食品関連企業/農学専門職/種苗の開発/農業・肥料に絡む仕事/農業資材関係/農業法人/食品企業の農産物部門/食品メーカー/サービス業/造園業/農産物の小売・市場/国家公務員・地方公務員/中学校・高等学校教諭 など



食品ビジネス学科

「食」に関わるさまざまな課題を 掘り下げ、「食をプロデュース する人材」を育てます

食品産業、農業、流通、消費、食品科学など幅広い視点からフードシステムを学び、実践的に「食」を創造し、「食」の未来を追究していきます。



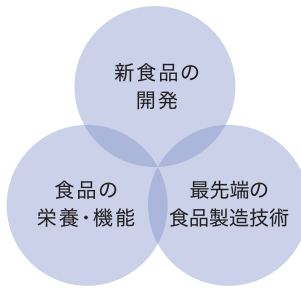
【仮称・設置構想中】

食品開発学科

食品開発の基礎×実践的実験・実習×新たな食品

人の健康の維持・増進に役立ち
安全な新食品を開発する力を養います

食品開発に必要な知識を「食品科学」「食品加工学」「食品安全」「食品機能」の視点から専門的に学んでいきます。最先端の食品製造や食品の栄養・機能に触れ、理解を深めることは、食の安全・健康志向の高まる現代には必須の能力です。新たな食品を開発し、人々の豊かな食生活に貢献できる技術や知識を習得する学科です。



主な仕事

資格を取得することで食品衛生管理者、食品衛生責任者、食品衛生監視員など、企業や地方自治体の専門的な仕事／水産・食品・食料メーカー／流通・フードサービス業／食品アドバイザー／食品のコーディネーター／商社の食品部門や関連／卸・小売業／食品製造／化学工業関係／中学校・高等学校教諭 ほか

【仮称・設置構想中】

国際共生学科

データサイエンス×貿易×国際社会

多様化時代の生物資源・環境と人の共生を
多角的な視点からマネジメントします

グローバル化・多様化の時代に不可欠な「多角的な視点から、国際的な共生を図ることができる知識と思考力の養成」を教育のコンセプトに掲げ、教養と専門の両面から学際的な学修を提供します。コミュニケーション能力や共生力をもって、生物資源をマネジメントしていける人材を育成します。



主な仕事

生命・食・環境に関する生物資源の貿易、流通、サービス／観光関係／商社／金融・保険／不動産／建設関係／通信・情報に関する企業や団体／国家公務員・地方公務員／中学校・高等学校の教諭／大学院進学 など

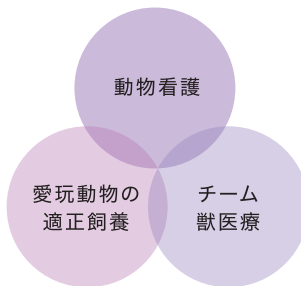
【仮称・設置構想中】

獣医保健看護学科

動物福祉×人と動物の関係×動物愛護

獣医師と協働して動物の健康と福祉に
貢献する愛玩動物看護師を養成します

動物の健康管理や看護に必要な専門知識と技術を幅広く学び、動物の診療補助や適正な飼養、疾病の予防からリハビリテーション、公衆衛生まで、動物管理における実践的な対応力の習得を目指します。また附属の動物病院と連携した実習を通じ、高い技術力を持った「愛玩動物看護師」を養成します。



主な仕事

動物病院／動物関連産業（ペット保険、ペット飼料、動物書籍出版など）／動物臨床検査／医学研究機関／実験動物施設／医療機器メーカー／製薬／医療関連のサービスや企業・団体／公務員／中学校・高等学校教諭／獣医学系学部への編入や進学、大学院進学 など

獣医学科

最先端の動物医療を通して、
動物の健康と公衆衛生に貢献する
獣医師を養成します

生命活動のメカニズムやさまざまな動物疾病の診断・治療や予防、公衆衛生、野生動物の保護と管理など、広範な領域を学び、最先端の知識と技術を身につけた獣医師を養成します。



ありのままの自然、そして世界を体感するフィールドサイエンス教育

講義で得た知識を実践力に進化させるポイントがフィールドサイエンス教育です。充実した施設・設備の活用だけではなく、ありのままの自然や環境に触れることで学修を深めます。また多様な観点の指導は広く視野を開き、さまざまな考え方や分析能力も習得していきます。さらに日本大学のネットワークを活用した海外との交流は人間性の成長にもつながる、大学らしい学びの場になっています。

2 演習林(藤沢、水上、八雲、君津)

3 富士自然教育センター

4 下田臨海実験所

5 農場

6 動物病院

7 骨の博物館

8 動物医科学研究センター

9 図書館

10 先端食機能研究センター

11 総合研究所

12 国際地域研究所

13 生命科学研究所

14 食品加工実習センター

15 生物環境科学研究センター



※掲載の写真は、学部案内パンフレット・学部紹介ポスターなどからの転載を含んでいます。

日本大学 生物資源科学部

NIHON UNIVERSITY | College of Bioresource Sciences

2023年4月・新学科体制へ 一学部改組構想中一

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866 TEL. 0466-84-3811

小田急江ノ島線「六会日大前」下車 徒歩 2分

<https://www.brs.nihon-u.ac.jp>

